

宇都宮大学における職場環境整備に関する意識調査

I. はじめにあなたの所属についておうかがいします

Q1. あなたの所属部局（兼務している場合は、主たる部局）の番号ひとつに○を付けてください。

- | | |
|----------|------------------------------|
| 1. 国際学部 | 2. 教育学部 |
| 3. 工学研究科 | 4. 農学部 |
| 5. センター | 6. その他（ ） |

Q2. あなたの職種と雇用形態、任期の有無について、それぞれ該当する番号ひとつに○を付けてください。

- | 職種 | 雇用形態 |
|----------|----------------|
| 1. 教員 | 1. 常勤 |
| 2. 研究員 | 2. 非常勤（フルタイム） |
| 3. 技術系職員 | 3. 非常勤（パートタイム） |
| 4. 事務系職員 | |
| 5. その他 | |
-
- | 任期の有無 |
|---------|
| 1. 任期有り |
| 2. 任期無し |

Q2-1. 教員、研究員に該当する方におうかがいします。現在の職名について、あてはまる番号ひとつに○を付けてください。

- | | |
|----------------------------------|----------|
| 1. 教授 | 2. 准教授 |
| 3. 講師 | 4. 助教・助手 |
| 5. 研究員・その他（ ） | |

Q2-2. 教員、研究員以外の方におうかがいします。現在の職名について、あてはまる番号ひとつに○を付けてください。

- | | |
|----------|------------------------------|
| 1. 部長級 | 2. 課長級 |
| 3. 課長補佐級 | 4. 係長級・主任 |
| 5. 一般職員 | 6. その他（ ） |

Q3. あなたの性別と年齢（2015年4月時点）について、それぞれ該当する番号ひとつに○を付けてください。

- | | | | | | |
|----|---------|---------|------------|---------|---------|
| 性別 | 1. 女性 | 2. 男性 | 3. どちらでもない | | |
| 年齢 | 1. 20歳代 | 2. 30歳代 | 3. 40歳代 | 4. 50歳代 | 5. 60歳代 |

Ⅱ. ワーク・ライフ・バランスについておうかがいします

ワーク・ライフ・バランスとは、「やりがいや充実感を感じながら働くとともに、家庭や地域社会においても人生の各段階に応じた多様な生き方が選択・実現できること」を意味しています。

Q4. あなた自身のワーク・ライフ・バランスを自己評価するとどれにあてはまりますか。該当する番号ひとつに○を付けてください。

1. よくバランスがとれている
2. バランスがとれているほうだと思う
3. ワークに偏りすぎている
4. ライフに偏りすぎている
5. その他の活動に偏っている

Q5. あなたは自分のワーク・ライフ・バランスに、どの程度関心がありますか。該当する番号ひとつに○を付けてください。

1. とても関心がある
2. 一般的な関心は持っている
3. あまり関心がない
4. ワーク・ライフ・バランスという考えがよくわからない

Q6. 宇都宮大学におけるあなた自身の仕事に対する満足度を自己評価するとどうなりますか。0-100%の数値でお答えください。

仕事の満足度は_____ %くらいである

Q7. あなたは何らかの自己啓発活動に取り組んでいますか？該当する番号ひとつに○を付けてください。

自己啓発活動とは、「仕事に関連する能力を自発的に開発し、向上させるための取り組み」で、趣味、娯楽、スポーツは含みません。

1. 自己啓発活動を現在も行っている
その内容 ()
2. 過去に自己啓発活動を行ったことがある
その内容 ()
3. 自己啓発活動を行ったことはない

Q8. 自己啓発活動の問題点は何ですか？該当する番号すべてに○を付けてください。

1. 時間的に余裕がない
2. 費用が掛かりすぎる
3. どのような自己啓発活動があるのかわからない
4. 適当な教育訓練機関が見つからない
5. 自己啓発しても仕事の面で評価されない
6. 教育訓練機関のコースを受講したり、資格を取得しても効果がみられない
7. 自己啓発する必要がない
8. その他 ()

Ⅲ. あなたの職場環境についておうかがいします

Q9. あなたが所属する職場の仕事状況や雰囲気についておうかがいします。下記の項目についてあなたの考えに近い番号それぞれひとつに○を付けてください。

(5.そう思う 4.まあそう思う 3.わからない 2.あまりそう思わない 1.そう思わない)

- | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1. 一人あたりの仕事量が多い | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 2. 一部の人に仕事が偏ることがある | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 3. 突発的な仕事が生じることがある | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 4. 仕事の手順は自分で決められる | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 5. 仕事の期限にゆとりがないことが多い | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 6. 同僚同士で仕事の会話がある | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 7. 学部・部局間での意思疎通が難しい | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 8. 勤務時間が終われば他の人が残っていても帰宅できる | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 9. 効率よく仕事を進める人に仕事が集中する | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 10. 学科、専攻、学部、部局内のコミュニケーションがある | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 11. 自分が担当する業務の内容が明確である | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 12. 仕事の割り振りや評価は公正に行われている | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 13. 上司（上位職）は部下（下位職）の育成に熱心である | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 14. 仕事を進めるときの非公式な調整に時間がかかる | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 15. 残業や休日出勤が多い | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 16. 学部・部局で自分の意見を言える場がある | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |

Q10. あなたは仕事や職場生活において不安や悩みなどのストレスを感じることはありませんか？該当する番号ひとつに○を付けてください。

1. 日常的にストレスを感じている
2. 頻繁にストレスを感じることもある
3. ときにはストレスを感じることもある
4. ストレスは感じるが、受け流す余裕がある
5. ストレスは感じるが、仕事で発散できる
6. ストレスをほとんど感じない

Q10-1. Q10 でストレスを感じるがあると回答した方に質問します。それはどのようなストレスですか？該当する番号すべてに○を付けてください。

1. 仕事の質の問題
2. 仕事の量の問題
3. 仕事の適性の問題
4. 職場の人間関係の問題
5. 昇進や昇給の問題
6. 配置転換の問題
7. 雇用の不安定性の問題
8. 定年後の仕事、老後の問題
9. その他 ()

IV. 女性研究者キャリア支援室の活動についておうかがいします

Q11. 「女性研究者キャリア支援室」が取り組んでいる下記の活動をあなたは知っていますか。該当する番号ひとつに○を付けてください。

(3. 知っており関心がある 2. 知っているが関心は薄い 1. 知らない)

- | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|
| 1. 女性研究者キャリア支援室の設置 (平成 25 年度) | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 2. ワーク・ライフ・バランスと男女共同参画に関する意識調査
の実施 (平成 25 年度)、調査報告書の配布 (平成 26 年度) | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 3. ホームページの立ち上げ、情報発信 (平成 25 年度) | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 4. ニュース・レター1-4 号の発行 (平成 26 年度) | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 5. ワーク・ライフ・バランスリーフレットの配布 (平成 26 年度) | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 6. 公開シンポジウム「かがやく女性 輝く社会」の開催 (平成 26 年度) | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 7. 女性カフェ (fe-le café) の定期開催 (平成 26 年度) | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 8. 男の料理教室 (OLE'S KITCHEN) の定期開催 (平成 26 年度) | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 9. ワーク・ライフ・バランス相談窓口の開設 (平成 26 年度) | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 10. 女性教員を支援する研究補助員制度の新設 (平成 26 年度) | 3 | - | 2 | - | 1 |

Q12. この質問は、女性研究者の方におうかがいします。女性研究者サポートに必要なだとあなたが思う対策はどれですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

1. 研究補助員（TA、RAなど）制度の拡充、柔軟な対応
2. 女性研究者を対象とした研究費補助制度
3. メンター（研究や教育面で相談できる人）制度の導入
4. ワーク・ライフ・バランスに関する相談体制の整備
5. メンタルヘルス面のケア体制の整備
6. 女性研究者が集まって交流できる場の設定（女性カフェ）
7. 研究者、教育者としてのスキルアップを目的としたアカデミックセミナー
8. 入学試験やオープンキャンパスなど大学行事日の時の託児制度の導入
9. 育児サポート制度の拡充、柔軟な対応
10. 介護サポート制度の拡充、柔軟な対応
11. その他（）

Q13. この質問は全員におうかがいするものです。「女性研究者キャリア支援室」は宇都宮大学に所属する教職員を対象とした職場環境整備の活動を通して、女性教員比率の向上を図るという事業に取り組んでいます。どのような取り組みが求められるのでしょうか？またどのような点を改善すれば効果が上がると思いますか？あなたのアイデアを自由にお書きください。

Q14. 宇都宮大学が抱える問題点は何ですか？その問題点を改善できれば宇都宮大学はどのような大学に変われるのでしょうか？宇都宮大学というチームメンバーのあなたができることは何ですか？それを宇都宮大学はどのようにサポートすればよいのでしょうか？

仕事を通じてあなたが感じていること、提案、アイデアを自由にお書きください。

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。